

平成28年9月25日(日)

老球の細道270

今年も会津協会「アスリート教室」スタート 会津バスケットボール協会 室井 富 仁

毎年我が家の朝顔の顔がスッピンになり、稲穂の頭が垂れるころになるとバスケットボールアスリート教室開催となる。今年もその時期がやってきた。協会主催は4年目になるが、坂下高校時代に個人的に開催していたのを含めると通算10回目の節目になる。

きっかけはミニ、中学の地区全体のレベルアップがなければ地元高校のレベルは上がらないというところからである。特に推薦制度などで優秀な選手を集められない会津地区の高校の場合は、ほとんどが偶然に集まってきた選手で勝負するしかない。そのような時、ミニ、中学から地区全体で選手たちを育てておけば、ある程度のレベルの選手は地元に残る。その選手たちが、どの高校に進学しても高校の指導者いかに強化の可能性は残る。地産地消は食の世界だけではなくバスケットボールの強化においても同じである。

この企画のヒントになったのは、1989年第68回全国高校サッカー選手権大会で全国制覇を果たした愛媛県南宇和郡愛南町の南宇和高校である。小さな町の一つしかない小さな高校でサッカー高校日本一になれた。この高校の指導者が地元の小中学校の育成に努力し、その子どもたちが南宇和高校に進学して全国制覇を成し遂げたのである。

今回は10回目ということで、今までのファンダメンタル中心の単発プログラムから発展して、指導者にも役立つ1:1から5:5へのチームオフENSEの創り方をメインにした。今のところ70名の選手と13名の指導スタッフが参加している。今年は参加者に大きな変化が見られる。ミニ、中学だけでなく高校生女子が10名以上も参加している。また、ミニ、中学においては喜多方地区が今年も多数参加している。指導スタッフも高校の指導者が例年になく多数参加してくれているのが明るい話題である。

永遠の課題は中学校指導者参加の少なさである。日曜日の貴重な時間をプレイヤー、コーチとして実績のない私の指導するクリニックに参加することは時間の無駄になるかもしれない。しかし、このクリニックに参加しながら、カテゴリーを超えた多くの指導者とコミュニケーションをとることによって、さらに新たな指導のヒントが得られるかもしれない。それが自チームの選手のためにもなる。自チームの指導だけでなく皆で地区全体を強くしていくことは、結果的に自分のチームも育っていくと思うがいかがだろうか。

これから12月まで合計10回にわたって行われる内容は下記のとおりである。

- 9月11日(日) 正しいワンハンドセットシュート&ジャンプシュート
- 9月18日(日) ジャブステップからの1:1
- 9月25日(日) ボールレシーブからの1:1 (ダイナイディフェンスの厳しい状況)
- 10月9日(日) ドリブルからの1:1、ドリブルチェンジ
- 10月23日(日) ローポストでの1:1、プロテクトシュート
- 11月6日(日) ピック&ロール
- 11月13日(日) オフェンススペーシング (アウトサイド、インサイド)
- 11月27日(日) 速攻からのセットオフENSE (ドリブルドライブモーション)
- 12月4日(日) プレスアタックⅠ
- 12月18日(日) プレスアタックⅡ